

CS相中通信

地域活性化を考える ～地域の方のお力をお借りして

2年生がキャリア教育の一環として、地域活性化について様々なテーマで考え、発表する授業を行いました。1学期に職場体験学習を行った2年生は、その経験を基に、地域をさらに活性化するにはどうしたらよいかを、①売る(商品開発)、②食べる、③体験する、④住む1(福祉、教育)、⑤住む2(公共施設)の5つのテーマに分かれて、自分たちで取材したり、インターネットの情報から考えたりして、まとめました。そして、まとめたものを発表し、相互に質問したり、意見を述べ合ったりして、さらに深めていきました。その機会に特別講師として地域の方をお招きして、御意見をいただきました。



地域からお迎えした講師の方(多くは本校の協議会委員の皆様)は、様々な御経験が豊かな方々であり、各方面で御活躍されています。その御経験を基に、生徒にとって励みになる感想や、時には厳しい意見などをいただきました。中には、そうした講師の方の発言に触発され、活発な議論になったグループもありました。まきのほら活性化センター長の中山史一様には、いいアイデアがあればセンターで実現につなげるということで、アドバイスをいただきました。中にはあとひと工夫すれば実現できそうなものもあるということでした。

この単元では、こうした講師の方々の御意見を踏まえ、あとは生徒の力でそれぞれのプロジェクトを完成させました。完成したものは、今回講師をお務めいただいた中山センター長や(株)マキノハラボ様にお送りし、見ていただくことになりました。生徒によるアイデアが実現するかもしれません(マキノハラボ様からは、協議会委員でもある浅野様と、石山様に今回講師をお務めいただきました)。



センターの取り組みを紹介し、生徒にアドバイスする中山センター長

※ CS=コミュニティ・スクールとして地域に開かれた学校、地域と一体となった学校教育を目指します。